

# 経済建設常任委員会

9月11日から3日間、付託された決算議案9件、請願・陳情5件の審査及び所管の事務調査を行った。

## (農林水産課)

### 和牛博

昨年10月に開催された「和牛博覧会inとっとり」

には、県内外から27万人の来場があり、サブ会場となった名和トレーニン

グセンター、畜魂祭が行われた大山博労座も大勢の人で賑わった。

今年度は、県、JA等と協同で和牛王国復活に向けた「西部和牛王国復



和牛王国復活に様々な取組み

活プロジェクト」も立ち上がり、和牛博の成果を継承する取り組みに繋がっている。

## (水道課)

### 急がれる料金統一

農業集落排水の接続率79・3%、公共下水道の接続率62・6%、接続率の一層の向上が課題となっている。

また、上下水道とも赤



工事が完成した報国羽田井線

字が大きく、使用料の適正化に向け、旧町ごとの料金体系の早期統一が必要になっている。

## (建設課)

### 町道報国羽田井線事業完了

町道の維持管理費は約1億円、道路新設改良費は約1億8千万円。町道

報国羽田井線新設改良工事、町道上万保田線改良工事がそれぞれ完了した。

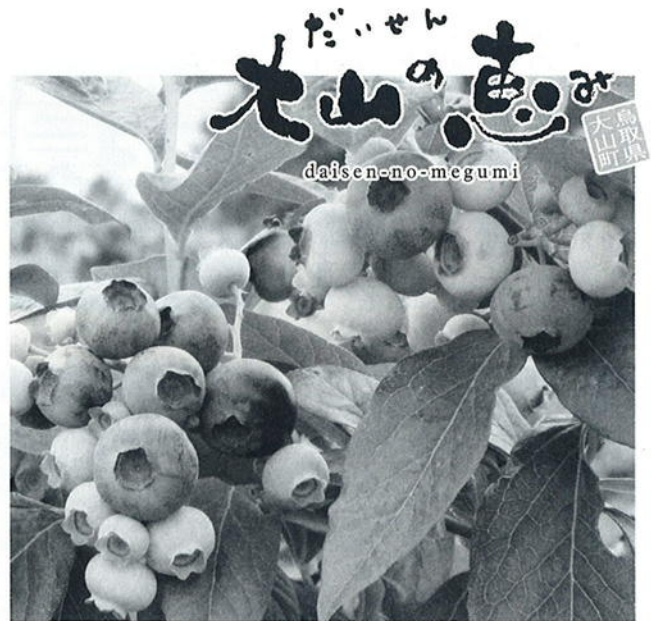
また、町営住宅使用料の未収金は76万円。前年度比48%で大きく改善した。

## (大山振興課)

### 恵みの里づくり

大山恵みの里づくり推進事業の決算額は、約6千万円。大山グリーンロッシおよび眺海荘の取得費等4682万円、事業の推進役である恵みの里公社への補助金500万円、大山町ブランドマーク作成及びブランド活用プラン作成の委託料378万円など。

農産物や特産品など、大山町ブランドに認定されたものは、「大山の恵み」等の名で高付加価値



様々な物産の付加価値向上に

## (観光商工課)

### 中原は黒字に

販売が可能になる。ブランド名にふさわしい品質の確保と、普及していく上での数量の確保が課題になっている。



積雪にはめぐまれた昨シーズンの中の原スキー場